

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立 開 平

小学校

児童数

37

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.21	18.63	30.84	34.37	46.84	9.38	144.26	24.37	50.95
大阪市	16.40	19.40	32.70	39.96	48.15	9.41	149.30	21.44	52.53
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
女子	15.39	20.28	36.28	32.94	37.78	9.78	132.83	12.78	51.56
大阪市	16.15	18.51	37.54	38.38	38.97	9.65	142.68	13.31	54.47
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59

結果の概要

男子女子とも、体力合計点が大阪市・全国平均を下回る結果となった。特に「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」においては男女とも大阪市・全国平均を下回っており、課題がみられる。男子においては「握力」「50m走」「ソフトボール投げ」、女子においては「上体起こし」は全国平均を上回っていた。児童質問紙において特徴的だったのは、男子で「あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか」「体育の授業は楽しいですか」の肯定的回答が全国・市より10パーセント低かったことがあげられる。男子の中に、体を動かすことが苦手と考えている子どもがいること、一方、女子は体を動かすことは好きだが、運動面の調査結果に必ずしも反映されていないことがうかがえる。また、男女とも、「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗をおそれないでちょうど戦している」「自分には、よいところがあると思う」が市や全国平均よりも高かったところから、達成感を味わったり、自己肯定感を感じていたりしている姿もうかがえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

生活習慣向上を目指した毎月のすこやか週間(就寝時間・手洗いうがい等)で自分で生活を振り返る活動を続けている。年度末にすこやか会議を開催し、学校全体で健康な生活を送るためにどのようにしていけばいいか、保健・給食・運動委員会を中心に活動している。活動を通して、自分のできているところとできないところを明確にし、改善していくという意欲につながっている。ただし、なかなか改善しない児童については、保護者にも啓発活動を実施している。また、睡眠時間が少ない児童が多く、朝食を抜いている児童もいるため、基本的な生活習慣を身に付けられるよう取り組みを進めていく。

体育的行事(運動会・長縄跳び大会・持久走大会等)に向けて、学級・学校全体で取り組むことで、児童一人一人が前年度の自分たちの記録を更新しようという意欲を持って取り組んでいる。しかし、本校区の状況から土日に運動・スポーツに積極的に活動している児童は少ない。また休み時間等積極的に身体を動かしている児童がいる一方で、身体を動かすことにあまり積極的でない児童もたくさんいる。また、今後の課題として、校舎増築により運動場が狭くなる。そのような中でも、体育の授業、休み時間などで体を動かしたり、遊んだりできるよ授業づくりやう場づくりを工夫していく。

例えば、雨天時であっても運動したり遊んだりする機会をより多く与えることで、身体を動かす場の設定に努めていく。また、体育的行事に向けて、児童一人一人が課題意識を持って取り組むために、過去の記録や前年度の自身の記録を参考にして、目標を持って取り組んでいけるような働きかけを行っていく。授業では、からだづくり運動や鬼ごっこなどをたくさん取り入れることで、身体全体を使った運動をより多く行っていく。体力テストの結果が依然、全体的に全国・大阪市平均を下回っているため、発達段階を考慮した「体づくり運動領域」の指導に力を入れる。また、校内研修を充実させる等して、指導者の指導力向上にも努めていく。また、外遊びを積極的に行っている児童でも運動技能への自信がない児童が多いため、スマールステップで課題をクリアし、自信をつけられる場の設定を進めていく。